



加治丘陵 びより

平成17年10月1日

第 5 号

NPO法人加治丘陵
山林管理グループ

第3回定時総会



定時総会会場風景

去る6月5日(日)入間市民活動センター3階大ホールにおいて、第3回NPO法人加治丘陵山林管理グループの定時総会が開催された。会場を溢れるばかりに埋める会員と木下博市長はじめ、斎藤正明、田中龍夫両県議の来賓の方々にも花を添えていただき、活発な活動をする当グループに相応しい活気溢れる総会となった。事業報告、計画、予算案等一連の執行部提案事項もスムーズに決議された。小沢盛久理事長が冒頭の挨拶の中で、加治丘陵の環境整備に寄与し、市内唯一の

この里山を美しく子孫に譲り渡そうとの強い意思を表明されたことに対し、平素、その活動に頑張っている会員一同も同じ思いであり、誇りと喜びの熱い想いが会場を満たしたのであった。来賓挨拶の中で、木下博入間市長は、我々グループの活動に大いなる期待と感謝の意を表明されたことも、会員一同の励みとなった。

特別講演会



講演する加治隆先生

総会に引き続き、日本アメニティ研究所理事長、元環境庁審議官加治隆先生(入間市出身)の講演会が開催された。演題は「加治丘陵の自然の未来を考える」でその要旨は「加治丘陵は関東平野の西端にあり、入間川と霞川に挟まれた緩やかな山地である。その自然は古代から農業や暮らしを支え、人々の心を和ませてきた。そして今、多くの人々の協力によって、この豊かな自然は永く子孫に引き継がれようとしている。これからの加治丘陵の自然と人々との関わりはどうあるべきか、現在、武蔵野の人々と共に生き続ける雑木林の里山を参考に、そのあり方を考える」(文は先生ご自身のもの)であった。またスライドを使用しながらのお話はたいへんわかりやすく、これからの我々の活動に

対しいろいろ示唆していただくものがあつた。

森林視察研修とバーベキュー大会



9月4日(日)第3回森林視察研修会は嵐山町、都幾川大野地区を視察後、同村菅木の村キャンプ場で懇親会(バーベキュー大会)を行った。参加者は50名で、貸切バスに乘車、嵐山町の史跡、菅谷館跡及び県歴史資料館、嵐山溪谷を見学して、都幾川木の村キャンプ場に到着した。車窓から見る大野地区の森林は整然と植樹されていて、さすが“木の村”という印象を受けた。木の村キャンプ場は大野峠の直下で都幾川の源流となる清水が豊富に流れ出し、周囲の山々と調和して絵の

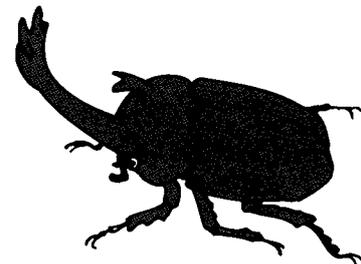
ような風景である。ビニールシートを敷き大きな輪を作り大バーベキュー大会の始まりである。特別参加していただいた入間市環境部次長小嶋永一様から加治丘陵保全のための入間市の取組みについて講話をいただいた。会員が腕を振るったバーベキューに舌鼓をうち、アルコールも入って得意の民謡を唄う人、それぞれに会話を楽しむ人、和気藹々の時を過ごし、たっぷり英気を養った。帰りのバスも車中にぎやかに過ごし、夕刻無事入間市に帰着、散会した。

(レポート 山畑 博)

カブト虫取りの体験学習開催



去る7月9日(土)・10日(日)の2日間、入間市児童センターの仲介のもとに、父兄同伴で参加した児童らを対象にして、当グループのカブト虫増殖床がある市内南峰地内で「カブト虫取り体験学習会」を開催した。今回は第2回目。このところの異常気象のため2日間で250名が参加したものの、成虫がほと



んど取れず、幼虫だけ。児童には気の毒であったが、さらに研究を重ね、期待に応えたいと思う。

(レポート 大山 博)

安全指導員の制度の導入

作業中の「安全」を確保するため以下8名を「安全指導員」に任命した。笛を持ち腕章をつけ作業活動を見守る。武藤茂、木村道洪、山川英男、塚越克夫、小田稔夫、吉野秀明、菊池誉、豊泉功。安全唱和「無理しない、急がない、余裕を持って」全員が安全について再確認しよう！

入間万燈まつり

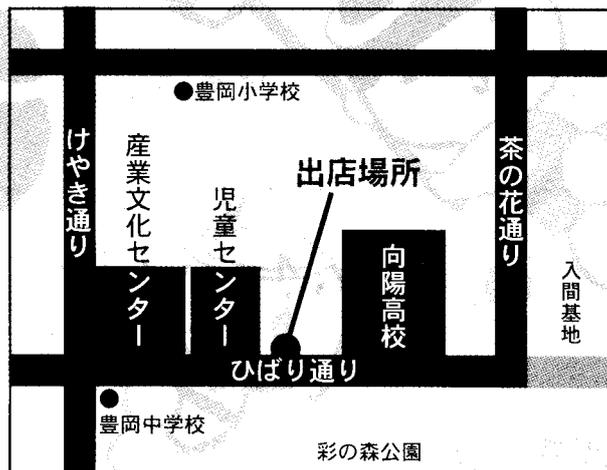
出

店

参

加

来る10月22日(土)・23日(日)に開かれる「万燈まつり」に、今年も出店する。当グループとしては、3回目の出店となる。清水徳三実行委員長を中心に、すでに委員会も回を重ね着々とその準備が進められている。出店目的？それは当然物の販売（利益）などではなく、当グループのPRであり、店にお立ち寄りいただいた方々に、活動の目的、内容等をお話する機会とするためである。実行委員一同張り切っており、恒例の“いか焼き”も旨くて安く評判も上々で、ぜひ一度店にお立ち寄りを！



出店場所案内図

NPO法人（特定非営利活動法人）とは（第2回）

前号でNPO法人の特性として、ボランティアが“活動に参加する側の人”であるのに対して、NPOは“ボランティアの参加する場を作り、参加を求める側の組織”であると述べたが、今回は法的位置付けについて考察してみよう。NPO法（特定非営利活動促進法）第1条は「この法律は、特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること等によりボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。」と定めている。ここで出てくる社会貢献活動の分野には、社会福祉・まちづくり・環境・芸術・文化・人権・平和・国際協力等々で、さまざまな分野で大きく広がっています。そして、これらのNPOの活動は、いずれも何らかの社会的な意義を持っています。このように社会貢献活動とは、社会全体に寄与すべく、不特定多数のものの利益の増進をはかる活動であり、いわゆるボランティア活動、市民活動、市民運動と呼ばれてきた、市民の社会的な活動のすべてが含まれます。より多くの人々にご参加いただくよう社会に訴え続けていくためにも、私達はNPO法（人）を整理して理解を深めていくことが必要だと考えます。

寄稿文

初めて山作業に参加して.....

桜山展望台周辺の遊歩道を時々友人と散歩しています。緑豊かな自然の中で四季折々のお花が咲き、小鳥の鳴き声がひびき渡り、そこに身を置くだけで、ほんとうに心癒されます。この豊かな自然を次の世代に譲り渡すべく、会員のひとりとして協力することの責務を感じています。

片居木とくこ

短歌.....

加治丘陵 エンジンの音も軽やかに 働く仲間われらNPO

生い茂る 草木と闘う刈払い 流れる汗も拭うひまなし

草刈りて 明るくなりし加治の山 キスゲの花を一つ残して

小林貞次郎



入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に関心のある方（正会員）、及び企業（賛助会員）を募集しています。

＝ 会員になって活動を支えて下さい。 ＝

- 我々はボランティアで活動しています。
- 約260人の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員（個人）2,000円
賛助会員（会社又は団体）1口10,000円
- 加入連絡先 04-2966-3131（小澤盛久）

役員紹介

（理事長）小澤盛久

（副理事長）山畑 博 大山 博 清水徳三

（理事）粕谷義久 岩崎幸一 山川英男
西沢久男 塚越克夫 小田稠夫
小林貞次郎 山中洋忠 豊泉 功
山西素直 菱川浩次

（監事）山口幸春 菊地 誉

※大山博氏は事務局長兼務

編集後記

会報発行の目的は一義的には、会の発展と活動内容の報告と予告である。が、それではよくある会報でしかない。率先して会員としてその活動にご参加いただくNPO法人の会報にあたっては、その作業を会員皆で担う意識が、より面白い充実したものになるであろうと考えている。8月、加治丘陵の作業は夏休み。秋の作業スタート前に森林視察研修会を行った。久しぶりに顔を合わせた会員同士の会話がはずみ、おおいに盛り上がった一日であった。より一層のご指導ご鞭撻をお願い致します。（粕谷義久）